

南十字星

発行者
クイーンズランド
補習授業校
校長
丸山吉信

今後の予定

九月二〇日
・第二学期終業式・成績通知表配布
十月四日
・第三学期始業式・後期教科書配布
・GC教員研修
十月十一日
・BNE教員研修
・BNE第三回運営委員会
十月十八日
・BNE理科学習の日
・GC第三回運営委員会
十月二十五日
・BNE補習校祭り
十一月八日
・文集原稿締切

第二学期終業式

本日で補習校の第二学期が終わりです。二学期は、運動会があり、特に印象深い学期だったと思います。運動会にご協力下さった多くの皆様に改めて御礼申し上げます。また、二学期も安全当番や応急処置、図書係としてご奉仕下さった保護者の皆様、大変あ

りがとうございました。

GC通信簿の出欠記入

ゴールドコースト校では今学期、八月二日が借用校の学校祭のため、休校となり、その分の補講を八月十六日と九月十三日の二回に分けて行いました。

出席の扱いにつきましては、規定通りの授業時数実施の記録を残すため、出席簿の記載を以下のようにしています。通信簿にも同様に記載されますので、ご了承下さい。

- (一) 八月十六日と九月十三日の補講を両方とも欠席した場合、八月二日を欠席とする。
- (二) 両補講日とも出席の場合、八月二日を出席とする。
- (三) 八月十六日だけ出席し、九月十三日を欠席した場合、八月二日を早退とする。
- (四) 八月十六日を欠席し、九月十三日だけ出席した場合、八月二日を遅刻とする。

BNE理科学習

八月三十日は理科学習日でした。以下のような学習をしました。
小二

二年生は、各クラスで、球根を一人二個ずつ配り、その大きさや、色、形を観察して、「グラジオラスかんさつ日記」に、絵と文を書きました。球根の中には、根がはじめているものがあり、それを見つけた子どもが、とても喜んでいました。球根の大きさを、ものさしで測り、その幅を記録していました。はかりが無かったので、残念ながら重さは量れませんでした。毎週、かんさつ日記を、提出してもらうことにしているのです。どれぐらい大きくなるか楽しみです。各学級の活動の後、ニクラス合同で、ミニトマトの成長に関するビデオと、さつまいもの収穫のビデオを見ました。



小三

第一回に引き続き、磁石について学習しました。初めに磁石に引きつけられるものと、引きつけられないものがあることを復習しました。そして、身近なところをどんなものに磁石が使われているか考えました。ランドセルや冷蔵庫にはマグネットやフックなどに磁石が使われていると答えました。それから磁石にはN極とS極があることを学び、極同士を近づけるとどうなるか調べました。そして同じ極同士は退けあい、違う極同士は引き付け合うことを理解しました。また、磁石を糸につるすとどうなるか調べました。するとどの磁石も同じ方向を向くことが分かりました。そして方位磁針を使って方位を調べると、磁石が指した方向と同じ向きになることに気が付きました。

小四

四年生は、「天気と気温」について教科書を読み進めながら学びました。百葉箱と自記温度計はどういうものか確認しました。日本のほとんどの学校には、おそらく校庭の片隅に百葉箱があつて、自記温度計が作動していると思いますが、みんなに聞くと現地校

では見たことがないということでした。天気と気温の関係についても、折れ線グラフを見ながら、晴れの日と雨の日の気温の変化の違いに気づくことができました。ちょうど算数で折れ線グラフを勉強したところなので、グラフの傾きなど上手にグラフを読むことができたと思います。また、一日のうちに気温はどのように変化していくかということも学びました。太陽にあたためられた地面が、空気をあたためていくので、太陽は正午ごろ一番高くなりますが、空気があたためられるのに時間がかかるため、気温は午後二時頃が最高となり気温が最もひくくなるのは、日の出前であることを確認しました。

小五

理科 I 十〜十七ページ

まず、雲を観測してそのデータを地上に送ってくる『気象衛星』、地上の気象を観測する『アメダス』、雨や雪の強さなどを観測する『気象レーダー』について読みました。次に、日本の天気予報でよく見る日本列島上の雲の様子と各地の実際の天気を見比べました。そして、日本付近では、雲が西から東へ動いていくので、天気も

およそ西から東へと変わっていくことを学びました。運動会などの学校行事がある日には特に気になる天気、また漁業など天気によって左右される職業もあることなどを話し合い、天気予報は私たちの生活には欠かせないものであることを実感しました。気象予報士になるためには、国の試験に合格しなければなりません。年齢制限がなく、中学生で合格した人もいます。また、昔は現在のような天気に関する情報がなかったので、『夕やけのときは、明日は晴れ』『富士山にかき雲がかかる』と『飛行機雲がなかなか消えない』と『雨』など地域によって天気の言い習わしがあったことを、楽しく学び、単元『天気の変化』の学習を終えました。

中一

物質の性質について学習しました。見かけ上、区別がつかない物質でも、手触りや匂いの違い、水に溶けるかどうかの違いで、それぞれに異なった性質があり、そのことで、物質の見分けがつくことを体験しました。今回使った物質は、片栗粉、塩、砂糖です。見ただれも同じパウダー状にして提示したとき、生徒たちは、身近な材料

にもかかわらず、見た目だけでは判断がつかないことに驚き、どうしたら区別がつくか、いろいろなアイデアが上りました。その中には、「燃やしてみる。」という意見もありましたが、残念ながら、その実験は、できませんでした。しかし着眼点はよく、燃えるかどうか、また燃えたときの炎の色はどうかななどの話が出ました。科学的な思考力、考察力を養うという点で、今回の学習は有意義であったと思います。

国語授業から

戦争をなくすには

G C 六年 肥後莉音

私は、戦争をなくすにはまず戦争を知らない私たちが戦争の悲しさを知らないといけないと思う。平和なオーストラリアで生活していると、テレビで他の国が戦争をしている様子を見ても、あまり実感がわかないからです。冬に日本に行った時、鹿児島県の知覧にある特攻隊の記念館に行くと、お兄ちゃんをたいして歳が違わない若い人達が戦争の犠牲になって特攻隊に入って敵の船や飛行機を撃ちつけて自爆することを知っておどろきました。記念館の壁には、特攻隊で死んでいった人達の写真がぎっしりはってあつ

て、死ぬ直前に家族に書いた手紙もたくさん展示してありました。やりたいこともまだ色々あったらと思うと、本当に、戦争は人の命をむだにするばかな事だと思いました。

戦争をなくすためには、もつと戦争の悲惨さを知って、戦争のない平和な生活がどれほど大切なことかを私たちが知る必要があると思う。

お知らせ

(一) G C 絵画展の作品用に画用紙を配布しました。回収は十一月一日です。
(二) 十月四日に教科書(下)を配布します。

(三) G C 補習校祭りは十一月二十九日に変更になっています。

BNEお弁当広場

雨天延期となっていたお弁当広場を八月三十日に実施しました。子供たちは、おいしいお弁当を食べた後、みんな遊び、楽しかったようです。

